

お客様に

「帯の保存とお手入れ法 に関するお願い」

- ◎帯はお締めにならなくても、春と秋の二回湿気の少ない天気の良い日に陰干しをして下さい。
- ◎着用後は、体温や湿気を発散させる為に、数時間陰干しをして下さい。
- ◎帯をおしまいになる場合は、湿気の多い所や風通しの悪い場所はお避け下さい。汗・湿りは変色や黴かびの原因になります。黴かびが生えたとシミ抜きをしても落ちない場合があります。
- ◎おしまいになる時は、ビニール袋の使用や、におい袋を直接帯の上に置いたり、帯に香水をかけたりする事はおやめ下さい。変色の原因になる場合があります。
- ◎防虫剤は帯に直接触れないようにして下さい。
二種類以上の防虫剤を同時に使用されますと、変色、シミ等の原因になりますのでご注意ください。
- ◎帯に加工されている金銀糸箔のある部分に、硫黄分を含んだもの（輪ゴム・石油系防虫剤等）が触れると、金銀糸箔が変色する事がありますのでご注意ください。
- ◎高熱アイロン及び蒸気アイロンは金銀糸箔を痛めますので使用しないで下さい。
- ◎汚れやシミ等が付着した場合は、早めにお買い求めの呉服店や百貨店又は専門の洗張りシミ抜き店にご相談下さい。ご家庭での洗濯は出来ません。

川島織物

検針

検